



構成ツール

- [この機能設定ガイドについて](#) (1 ページ)
- [構成ツールの概要](#) (1 ページ)
- [電話機能一覧の生成](#) (4 ページ)

この機能設定ガイドについて

このガイドでは、Unified Communications Manager システムで機能を設定するために実行する必要があるタスクについて説明します。このガイドは、「初日」の設定（着信コールおよび発信コール、ダイヤルプラン、ネットワーク リソースなど）をはじめとするコール制御システムの設定後に利用します。コール制御システムの設定の詳細について [Cisco Unified Communications Manager システム設定ガイド](#)は、を参照してください。

構成ツールの概要

このガイドの手順では、次の 2 つの構成ツールを使用する必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager Administration
- Cisco Unified Serviceability

この章では、ツールとそれらにアクセスする方法について簡単に説明します。

Cisco Unified Communications Manager の管理

Cisco Unified Communications Manager Administration 管理は、Unified Communications Manager ノードに対する個々の設定変更を手動で行うための Web ベースのアプリケーションです。このガイドの手順では、このアプリケーションを使用して機能を設定する方法について説明します。

一括設定タスクを実行する必要がある、設定プロセスを自動化する場合は、Unified Communications Manager 一括管理ツール (BAT) を使用して同時に多数の変更を設定に加える

ことができます。詳細については、[Cisco Unified Communications Manager 一括管理ガイド](#)を参照してください。

Cisco Unified CM の管理へのログイン

次の手順を使用して、Cisco Unified Communications Manager Administration にログインします。[Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] にログインした後、メインウィンドウに、Unified Communications Manager のライセンスの現在の状態を示すメッセージが表示されることがあります。たとえば、Unified Communications Manager で次の状況が確認されることがあります。

- Unified Communications Manager 現在、スターター (デモ) ライセンスで動作しているの
で、適切なライセンス ファイルをアップロードしてください。
- Unified Communications Manager 現在、ライセンス数が不足している状態のため、追加のラ
イセンス ファイルをアップロードしてください。
- Unified Communications Manager 現在、適切なソフトウェア機能のライセンスを使用してい
ません。この状況では、Cisco CallManager サービスは停止し、適切なソフトウェア パー
ジョンのライセンスをアップロードして Cisco CallManager サービスを再起動するまで開始
しません。

次の手順でサーバを参照して、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] にログインします。

手順

ステップ 1 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。

ステップ 2 Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。

`https://<Unified CM サーバ名>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

(注) オプションで、ポート番号を指定できます。

ステップ 3 [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。

ステップ 4 [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] ウィンドウで、Unified Communications Manager のインストール時に指定したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします (両方のフィールドの内容をクリアする場合は、[リセット (Reset)] をクリックします。)

(注) セキュリティ目的で、Cisco Unified Communications Manager Administration は30分間無活動状態が続くとユーザをログアウトするため、ログインし直す必要があります。

Cisco Unified Communications Manager Serviceability

このガイドの一部の手順では、Cisco Unified Serviceability アプリケーションを使用して、Unified Communications Manager ノードでサービスを起動または再起動する必要があります。

Cisco Unified Serviceability Web ベースのトラブルシューティング ツールであり、次の機能を提供します。

- トラブルシューティング用にアラームとイベントを保存し、アラームメッセージの定義を提供する。
- トレース情報を、トラブルシューティング用にログ ファイル保存します。
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool (Unified RTMT) を使用して、コンポーネントの動作をリアルタイムで監視します。
- ユーザによる、またはユーザ処理の結果としてのシステムの設定変更を記録することによって、監査機能を提供します。この機能は、Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection の情報保証機能をサポートします。
- [サービスの開始 (Service Activation)] ウィンドウによりアクティブ化、非アクティブ化、および表示を行うことができる機能サービスを提供します。
- 日次レポート (警告サマリーやサーバ統計レポートなど) の生成とアーカイブ。
- Unified Communications Manager、IM and Presence Service、および Cisco Unity Connection が、Simple Network Management Protocol (SNMP) のリモート管理とトラブルシューティングのために管理対象デバイスとして動作できるようにします。
- 1つのノード (またはクラスタ内の全ノード) のログパーティションのディスク使用をモニタします。
- システム内のスレッドとプロセスの数をモニタする。キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- **Unified Communications Manager のみ** : Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting を使用して、サービス品質、トラフィック、および請求情報に関する Unified Communications Manager レポートを生成します。

Cisco Unified Communications Manager Serviceability にログイン

にCisco Unified Serviceabilityログインするには、次の手順を使用します。

手順

ステップ 1 優先オペレーティング システムのブラウザを開始します。

ステップ 2 Web ブラウザのアドレス バーに、大文字と小文字を区別して次の URL を入力します。

`https://<Unified CM サーバ名>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ここで、<Unified CM-サーバ名> は、サーバの名前または IP アドレスと同じです。

ステップ 3 [セキュリティの警告 (Security Alert)] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。

ステップ 4 [ナビゲーション (Navigation)] メニューのドロップダウン リストから [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 [**Cisco Unified Serviceability**] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。

ステップ 5 Unified Communications Manager のインストール時に指定したユーザ名とパスワードを入力して、[ログイン (Login)] をクリックします。

(注) セキュリティ目的で、30分間無活動状態が続くとログアウトされ、ログインし直す必要があります。

電話機能一覧の生成

電話機能一覧のレポートを生成し、設定したい機能をどのデバイスがサポートしているのか判別します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Reporting から [**System Reports**] をクリックします。

ステップ 2 レポートのリストから、[Unified CM 電話機能一覧 (Unified CM Phone Feature List)] をクリックします。

ステップ 3 次のいずれかの手順を実行します。

- [レポートの新規生成 (Generate New Report)] (棒グラフのアイコン) を選択し、新しいレポートを生成します。
- レポートが存在する場合は、**Unified CM電話機能一覧**を選択します。

ステップ 4 [製品 (Product)] ドロップダウン リストから、[All] を選択します。

ステップ 5 設定の対象となる機能の名前をクリックします。

ステップ 6 レポートを生成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。